

第2号
2021.10

ともに学ぼう

報告

- ・陸沢町学校運営協議会会議 ～学校や地域の課題解決に向け熟議する場として～
- ・陸沢町地域学校協働本部 ～様々な場面で活躍するボランティアの活動～

NEWS (紹介記事)

- ・中学生ボランティアの新型コロナワクチン接種予約への支援

発行：陸沢町学校運営協議会
陸沢町地域教育協議会

2つの協議会は密接に連携し、学校と地域が活性するよう取組を行っています。

陸沢町学校運営協議会

～学校や地域の課題解決に向け熟議する場として～



保護者、地域の方が委員として一定の権限と責任をもって学校運営に参画する仕組みである「学校運営協議会」は導入から4年目となり、令和3年度第1回の会議が5月に開催されました。また、小学校・中学校ともに学校運営の基本方針、年間計画に基づき、教育活動を実施しています。

本年度の小学校・中学校の

グランドデザイン

小学校では、学校教育目標を昨年度に引き続き「きらきらと 輝きいっぱい 陸沢の子 一楽しさいっぱい やさしさいっぱい 元気いっぱい」として、「希望の登校、満足の下校」の実現できる学校等、めざす学校像・教師像・児童像を定め、学校運営を行っています。

中学校では、本年度、学校教育目標を、中学校卒業時に自らの意志と力で、次の一步をあゆみだせる生徒の育成をめざし、「自ら一步をあゆみだす15歳」に変更し、この目標を達成するために、めざす学校像も「生徒、保護者、教師が“この学校で良かった”と思える学校」とするなど、めざす学校像・めざす生徒像・めざす教師像についても、前年度の学校評価アンケートの結果や今年度の生徒の実態等から、変更し、学校運営を行っています。

5月の第1回会議では、昨年度の学校運営における当面の課題について報告がありました。小学校からは、「あいさつのできる児童」について、小学校で実施している「あいさつ運動」や昨年10月に青少年相談員と小学校PTAの協力のもと実施した、「ハロウィンあいさつ運動」等により、子どもと教職員間等で活発に行われるようになってきており、学校支援ボランティアの方から「陸沢の子どもたちは良くあいさつができますね。」と褒められたことが紹介されるなど、少しずつあいさつが定着していることがあげられました。中学校からは、昨年度、町商工会青年部等の協力により、壁のペンキ塗りを実施してから、自分たちの学校は自分たちでキレイにしており、校舎内外で以前より良い環境になったと報告がありました。

また、今年度の学校運営における当面の課題については、小学校では、前述の「あいさつのできる児童」のほか、教職員だけでは手が回らない、除草作業、そして、高所作業車がないと処理できないほど高く枝を伸ばし、隣接地や道路に張り出してしまった桜の枝木の対応について、何か良いアイデア等がないか相談があがりました。中学校からは、これからの時代を踏まえた、「教職員の育成」と「子どもたちに指導できる環境づくり」など、さらに、中学校だけではできない外廊下の鉄骨の錆等の補修についてなどがあげられました。

次回に開催する10月の第2回会議では、児童・保護者・教職員アンケート前期報告と後期の学校運営の取組等について、報告を行います。

導入から4年目。学校や地域の課題解決に向けて委員の皆さんから、考えや意見を出してもらい、熟議する場として、よりよい学校運営や地域の活性化を図っていきます。

ボランティア活動は
様々な場面で!!



陸沢町地域学校協働本部

学校からの支援要請にこたえて、ボランティア活動等を行っている「地域学校協働本部」。昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により実施できない活動がある一方、昨年度から先生方の働き方改革につながる活動として開始した、登校時や児童の下校バスの待ち時間の見守り活動等、様々な新規活動が開始されています。

小学校での学習補助として、第2学年では、生活科「野菜の栽培」の授業で、ナス・ピーマン等の苗の植えつけを行いました。また、第5学年では、家庭科「縫い物」の授業で行い、玉結び・玉止め等、洋裁に詳しいボランティアが学習補助を行いました。

皆さんの支援で、小学校からの 支援要請課題（桜の木伐採）を解決

学校運営協議会で課題としてあがった、小学校の桜の枝木への対応。この課題に支援が寄せられました。本年度環境整備へのボランティアとして新規登録をいただいた団体「あうん。」の21名のメンバーの皆さん、そして、高所作業車を無償で貸し出してくださったよねくら造園の協力により、運動会前の10月3日に桜の枝の伐採作業を行うことができました。



裏面に続きます

学校支援ボランティアの
募集内容などを掲載しています。



稲作体験は今年も実施



米づくりを通して、田んぼに足を踏み入れた時の感覚を体験するとともに、働くことの尊さや生産の苦勞、収穫の喜びを体験できる稲作体験学習。昨年度に引き続き、感染症予防対策のため、小学校第5学年のみでの実施となりましたが、そのような中でも、4月に田植え体験のため、上之郷の山田会、下之郷の中村祐和さん、地域学校協働活動推進員の上田雄二郎さん、久保田洋之さん、小学校PTAの皆さんが活動に参加し、子どもたちの支援にあたりました。

秋には、収穫体験（稲刈り）を予定していました。しかし、9月初旬の長雨の影響で中止を余儀なくされ、田んぼを管理して下さっている下之郷の中村さんに機械による稲刈りをお願いするかたちとなりました。



東京新宿区の花園小学校との直接の交流はコロナ禍では難しい状況ですが、田植えや稲刈りの様子を報告し、また、収穫したお米を贈りました。

皆さんの支援が、子どもたちの眠っている能力をノックし、新たな扉が開きはじめています。今後は活動内容に広がりを見せると予想されます。これからも新しい活動が始まった際には、子どもたち、そして、支援する地域の皆さんを含め、地域と学校が一体となって活動できるよう、お互いに協力しましょう。

生涯学習ボランティア・

学習支援ボランティアの

登録内容について再調査を行います。

地域や学校からの支援要請に対し、ボランティアの派遣をスムーズに行うため、また、できるだけ多くの登録しているボランティアの方に活動をいただくために登録内容について調査を行います。ご協力をお願いします。

(NEWS 紹介記事 _ /)

ボランティアの支援の心は、広がりを見せています♡

今号の巻頭記事の締めくくりで記載した「皆さんの支援が子どもたちの新たな能力の扉を開きはじめています。」の言葉。このことが形となった事例を今回紹介します。

**中学生ボランティアの
新型コロナワクチン接種会場予約への支援**

新型コロナウイルスのワクチン接種が本格的に始まった今年、パソコンやスマホの操作が苦手な高齢者のワクチン接種会場の予約手続きへのサポート役として中学生ボランティアがお手伝いしました。



中学生ボランティアの手助けによる接種会場の予約受付は、6月下旬から行われました。町の職員のサポートのもと、交代で対応。200人近く訪れた高齢者から希望の日時を聞き、パソコンから専用ページに必要事項を入力し、予約を済ませました。手続き作業を迅速に進めたい町にとっても、大いに助けられたこの取組は、全国でも珍しく、NHKのテレビニュースや各社新聞記事など多くの媒体で取り上げられました。

予約を終えた高齢者からは、「2回分のワクチン接種の日程が決まり、ホッとした。（中学生の支援に）心強い。」等の感想があがりました。中学生は、授業である程度パソコンを使用しており、「学びの成果を地域の人に還元したい」「普段、学校の草取りや見守りなどの学校支援でお世話になっている地元の高齢者には自分たちの力を活かしたい」と自主的に参加してくれました。

まさに、「恩返しも込めて」普段の支援が、中学生の心を動かした一例でした。



**引き続き、校内で児童を見守る活動をする
ボランティアを募集しています。**

睦沢小学校では、早朝バスで登校する児童を受け入れ時や夕方のバス下校時刻までの児童の見守り、そして、バスへの乗車を確認する協力をボランティアの皆さんにお願いしています。1週間1日朝だけ、夕方だけでも子どもたちの安心な登下校をサポートするために、この活動に力を貸してください。ぜひご連絡ください。



支援を必要とする時間帯と人数

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
朝の時間	7:20~7:50	7:20~7:50	7:20~7:50	7:20~7:50	7:20~7:50
	曜日ごとの必要な活動人数				
	2人	2人	2人	2人	2人
夕方の時間	14:35~15:20	15:30~16:15	-	15:05~15:50	15:30~16:15
	曜日ごとの必要な活動人数				
	2人	2人	—	2人	2人